

# 「スーパージュニア選手育成プログラム2024」 トライアル

5月18日（土）・19日（日）に広島会場、5月25日（土）に福山会場で、スーパージュニア選手育成プログラムのトライアルを開催しました。

コロナ禍が明け、多くの小学生たちが参加してくれました。

このトライアルで選考された約40名が、1年間を通してさまざまなスポーツを体験する「スーパージュニア選手育成プログラム」に参加することができます。



今年のトライアル参加者は、応募があった県内の小学4・5・6年生約260名。県内各地の小学校から参加者が集まりました。学校での体力テストとは違い、周りは知らない子ばかりで緊張感がありますが、ベストを尽くして頑張してほしいと思います！

開会行事では、主催者を代表して公益財団法人広島県スポーツ協会 堂本ひさ美強化副委員長が「チャレンジをすることはとても大切。トライアルでの結果が良くても悪くても、これから色々なことにチャレンジしてほしい。今日は思いきり力を出して頑張ってください。」とあいさつをしました。



準備運動が終わったら、いよいよ測定開始です。観客席の保護者の方も、カメラを構え真剣な表情で見守ります。

測定種目は、上体起こし・40m走・長座体前屈・立ち幅跳び・ソフトボール投げ・20mシャトルランの6種目。

学校でも行ったことがある測定なので、測定が終わると選手からは「学校では・・・」「学校より・・・」の声が聞こえます。泣いても笑っても今日の測定で決まってしまうので、参加者の皆さんが最善の結果が出せることを祈るばかりです。

ソフトボール投げ・20mシャトルランの測定では、毎年良い記録が出ると会場は大盛り上がりです。

今年も体育館の壁に勢いよく当たる遠投があると、選手・保護者・スタッフからは歓声があがり、選手同士で好記録を出した選手へ拍手する姿も見られました。また、シャトルランの測定では、自分自身に追い込みをかけ、最後まで必死に走る姿には、会場全体から拍手が起こりました。



【準備運動】



【40m走】



【長座体前屈】



【ソフトボール投げ】



【上体起こし】



【立ち幅跳び】



【20mシャトルラン】



今回のトライアルの選考は既に終了し、選考結果は各選手の記録とともに、参加者全員に通知を行いました。体験プログラムは、7月から始まり、計5回のプログラムが実施される予定です。

今回は1日だけとなりましたが、トライアル終了後に、スピードスケートの競技紹介が行われました。競技の映像が流れたり、実際のスケート靴を見せてもらう時間などがあり、参加者の皆さんは興味深そうに説明を聞いていました。これをきっかけに、今回合格となった人も、残念ながらそうでなかった人も、いろいろなスポーツへの挑戦をしてみしてほしいと思います。新たな発見をしたり、隠れた才能を見つけたりすることができるかもしれません。

最後に、今年もトライアルの測定にご協力をいただいたT&TWAMサポート株式会社のトレーナーの皆様、広島県小学生体育連盟の皆様、補助員としてお手伝いをいただいた広島市立大学、広島修道大学及び福山平成大学の学生の皆様に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

